

## (7) 在宅事業部

## 在宅事業部

## 目 次

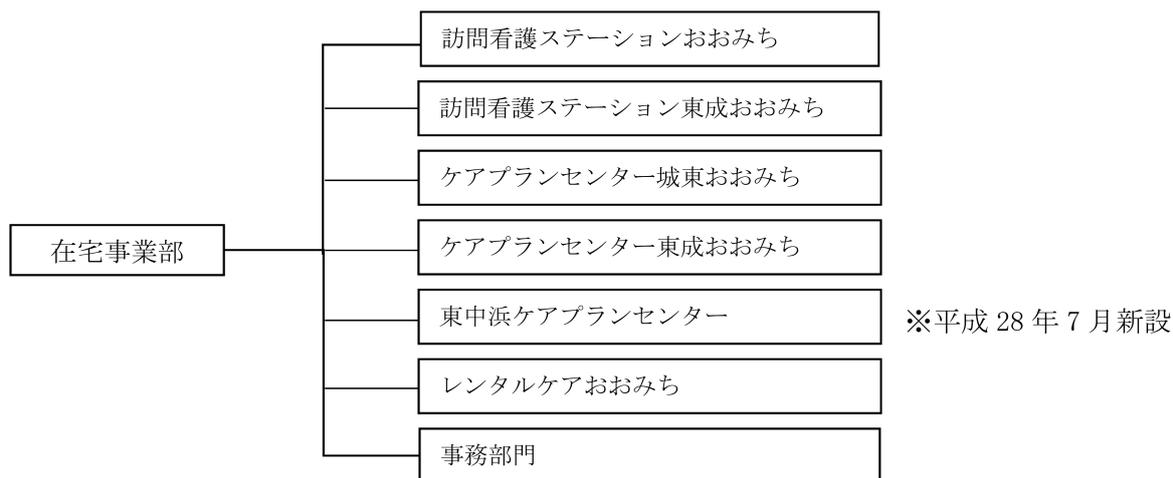
1	在宅事業部 概要	366
	(1) 在宅事業部 理念：「最期まで暮らしの価値を高める」	366
	(2) 在宅事業部 組織図	366
	(3) 事業所・事業体について	366
2	平成 29 年度 報告	367
3	平成 30 年度目標	367
4	平成 29 年度 取組み・活動報告	368
	(1) 訪問看護ステーションおおみち（訪問看護事業）	368
	(2) 訪問看護ステーション東成おおみち（訪問看護事業）	372
	(3) ケアプランセンター城東おおみち（居宅介護支援事業）	375
	(4) ケアプランセンター東成おおみち（居宅介護支援事業）	377
	(5) 東中浜ケアプランセンター（居宅介護支援事業）	378
	(6) レンタルケアおおみち（福祉用具貸与・販売事業・住宅改修事業）	379
5	統計報告（平成 29 年度）	382
	(1) 訪問看護ステーション（おおみち・東成おおみち）	382
	①利用者数・訪問件数推移	382
	②年間相談件数	382
	③介護度別分布（年度末時点）	382
	④実習生受け入実績	382
	⑤地域別分布	383
	(2) ケアプランセンター（城東おおみち・東成おおみち）	384
	①利用者数・加算件数推移	384
	②相談件数年間集計	384
	③介護度別分布（年度末時点）	384
	④利用者地域別分布（年度末時点）	385
	(3) レンタルケアおおみち	386
	①貸与・自費貸与・販売利用者数	386
	②介護度別分布（貸与利用者のみ）（年度末時点）	386
	③利用者地域別分布（年度末時点）	386

## 平成 29 年度 在宅事業部 業績報告

### 1 在宅事業部 概要

- (1) 在宅事業部 理念：「最期まで暮らしの価値を高める」  
 平成 29 年度活動方針：「労働環境改善」

### (2) 在宅事業部 組織図



### (3) 事業所・事業体について

事業所名	設立年	事業体	所在地
訪問看護ステーション おおみち・森之宮営業所	平成8年11月	訪問看護 予防訪問看護	〒 536-0023 大阪市城東区東中浜 1-2-17-202 Tel:06-6967-1123
訪問看護ステーション 東成おおみち	平成15年4月		〒 537-0021 大阪市東成区東中本 2-9-26 ジョイフル遠山 1 階 Tel:06-6977-8680
ケアプランセンター 城東おおみち	平成13年10月	居宅介護支援	〒 536-0023 大阪市城東区東中浜 1-2-17-201 Tel:06-6964-5285
ケアプランセンター 東成おおみち	平成15年4月		〒 537-0021 大阪市東成区東中本 2-9-26 ジョイフル遠山 1 階 Tel:06-4259-5311
東中浜 ケアプランセンター	平成28年7月		〒 536-0023 大阪市城東区東中浜 1-5-1 Tel:06-6962-3777
レンタルケアおおみち	平成19年11月	福祉用具貸与 特定福祉用具販売	〒 536-0023 大阪市城東区東中浜 1-2-17-201 Tel:06-6967-6250

平成 30 年 3 月現在

## 2 【平成 29 年度評価】活動指針「職場環境改善」

平成 29 年度においては、在宅事業部全体で年間約 2 億 7 千万円の収益を達成できた。これは前年度実績に対する約 103%（約 1 千万円の増収）の増収率となる。過去 5 年を振り返ると収益では年度による上下はあるものの 5 年連続の増収増益を達成し、事業そのものは成長していると言えよう。しかし、収益面における近年の特徴としては事業種別による業績の明暗がはっきりしているため、今後は、低迷事業に対する打ち手が必要となる。

■訪問看護ステーション：看護師のタイムリーな採用・異動ができたため 3 事業の中で最も良い業績を収めることができた。2ステーションで約 20 名の看護師が在籍し、年間収益は両ステーションともに 1 億規模になる。在宅見取り数も年々増加傾向にあり、今年度は両ステーションにおいて、ともに 10 名以上の在宅見取りを支援することができた。さらに地域支援事業では、これまで行ってきたプロボノ活動以外にも、地域介護職員への特定行為の指導、訪問看護学生実習の受け入れ、百歳体操の指導など積極的に活動できた。

■居宅介護支援事業所：一方、居宅介護支援事業所ではこの 3 年間で 12 名在籍していた職員が、現在は 8 名と激減し、その結果、特定事業所加算取得要件を格下する事態となり、経営への影響は大きかった。しかしその反面、事業コンプライアンスの強化を大きく進めることができた一年であった。

■福祉用具貸与事業所：福祉用具レンタル事業所においては、人員変動がなかったもののケアマネジャーの減員に伴って貸与や住宅改修の依頼数が減少し、収益の伸び悩みに苦しんだ一年であった。同法人事業所に依存する特性が大きく裏目に出た年であったため、今後は、地域とのつながりを重視し、地域に根差した事業を展開する必要がある。

## 3 【平成 30 年度目標】活動指針：「最長と拡大」

今年度は各事業所におけるこれまでの業績を冷静に評価し、かつ、30 年度ダブル改定を踏まえたうえで、地域ニーズにマッチしたサービス提供を行っていきたい。業績不振部門については、統・廃合も視野に入れ、更なる経営基盤の安定化を図り、地域資源として存在し続けることを目標とする。

■訪問看護ステーション：これまでは比較的大規模な事業所であったため重度者への対応を主に行ってきたが、今後はさらに、これに加え「小児」、「精神（認知症も含む）」領域へも事業展開する。つまり、今後、当法人における訪問看護の 3 本の矢を「がん・終末期」、「小児」、「精神」と定め、これを看護とリハビリテーションで支えることをその使命とする。また、これを実現する基盤としてさらなる大規模化と ICT 化による業務改革を確実に進める。

■居宅介護支援事業所：離職を誘因としない資源がさらに分散したため、これらの再編が必要となる。隣接するボバース記念病院の脳性麻痺部門への専門化を踏まえ、東中浜ケアプランセンターは 6 月末での閉所を実施する。残る 2 事業所は分散した経営資源を有効活用するため統合し、まずは人員数の安定を優先的に図る。これにより、特定事業所の格上げを実施し、地域の他事業所からの信頼を再び得られるよう地域支援事業を積極的に行う。

■福祉用具貸与事業所：前述したように自法人への依存体質を改善し、地域の事業所とのつながりを育み、信頼を得る必要がある。利用者、事業所の立場に立った提案、業務実行を徹底しこれを実現する。また、新規分野参入として、見守り支援機器の導入を実施する。

## 4 平成 29 年度 取組み・活動報告

### (1) 訪問看護ステーションおおみち (訪問看護事業)

#### ① スタッフの体制 (年度末日時点)

看護師：9名

セラピスト：3名

事務：2名

#### ② 業務内容

指定訪問看護 (健康保険法)

指定訪問看護 (介護保険法)

指定介護予防サービス (介護予防訪問看護)

#### ③ 業務実績

##### ア. 訪問看護ステーション共通目標

『在宅で最期まで、その人らしい暮らしを支える』

(ア) 看護の領域を広げ (小児看護 (超重症児)・精神看護・認知症看護・呼吸器管理・災害看護) 質の高い看護を提供できる

(イ) 医療依存度の高い利用者を地域で支えるために医療・介護との連携

(ウ) 地域に向け訪問看護の役割を推進できる

(エ) 住み慣れた家・地域で安心して生活していただけて看取りができる

(オ) 働き続けられる事業所づくり

##### イ. 平成 29 年度目標

「和 (輪) を作り働きやすい環境づくり

～質の高い看護が提供できる事業所を目指す～」

##### ウ. 通年目標と取り組み

(ア) 財務の視点

目標件数・売上の達成

㊦相談には親切丁寧に対応し断らない

㊧法人外 CM との連携強化

㊨入院を回避できるように予防看護の実践：肺炎・脱水・便秘・転倒を予防

㊩ 30 分訪問看護の見直しへの取り組み

㊪機能強化型ステーション・介護体制強化型加算取得への取り組み：癌末期・看取り・医療ニーズの高い (特別管理加算) 利用者の獲得

【成果】

年間訪問目標：10,756 件 (看護：8,006 件・リハ：2,806 件)

年間訪問実績：11,864 件 (看護：9,054 件 リハ：2,810 件)

年間売上目標：100,903,651 円 (看護：75,880,107 円 リハ：25,023,544 円)

年間売上実績：106,748,013 円 (看護：83,680,013 円 リハ：24,463,260 円)

相談：103 件 (8.5/月) 新規：83 件 (6.9/月)

中止：66件（5.5/月）入院：155件（12.9/月）看取り：13件

目標訪問看護1件単価：9,568円→平均：9,180円

利用者：4月（134名）→平成29年3月（147名）

目標より看護件数：1,048件・訪問リハビリ件数4件 全体で訪問1,052件 売上5,844,362円の増加となり訪問件数・売上共に目標を大幅に超えた達成となった。

医療保険で癌末期（看取り13件）や医療処置（点滴管理・褥瘡処置）での訪問が延びたことや下期にはリハビリマネジメントリーダー（主任）が配属され常勤3名となり達成誘因につながった。割合で医療20%（H28:14%）介護80%（H28:86%）となり医療の割合が増えてきた。30分訪問は目標25%→25.9%（H30年3月末）0.9%増加。訪問看護の1件単価は9,180円となり目標より-318円の結果となった。原因は医療保険の点滴管理での複数回訪問も多くあったためセルフケアが課題となった。機能強化型ステーションⅡの取得を目指したが、看取り件数が平均2件不足し取得には至らず今後も継続して取り組んでいく。

#### （イ）業務プロセス視点

医療依存度の高い（癌末期・看取り・重症度高い（小児））利用者を最期まで在宅で支えられることができる

- ⑦働き続けられる職場環境づくり：業務の見直し・残業減少・携帯の負担軽減
- ⑧安定した経営に向け訪問看護師の獲得
- ⑨訪問看護稼働時間の適正化：1ヶ月＝67.4時間稼働 訪問件数＝74件
- ⑩業務の効率化：訪問動線の効率化・タブレットの活用・残業事前申請

#### 【成果】

7月に1名の退職があり看護師9名となった。採用目的で2名の訪問看護体験研修を進めてきたが獲得までは至らなかった。地域の先生方からも癌末期で看取りの相談が月に1～2件あり看護師欠員の状況にあったが断らずに対応できた。重症度が高くあるため、営業日以外での訪問も年間通し実施、緊急携帯への相談も多くニーズに合わせた対応もでき安心した療養生活を支えることができた。反面、スタッフの負担は大きく緊急訪問は月平均11件増加傾向にあり健康面へ配慮した勤務調整を行った。重症度が高くなると、他職種との連携も密になり残業も増える状況にあったが29年度は昨年度より174.5時間減少することができた。有休取得は1人当たり6日間の結果となり目標の10日間には至らなかった。看護師人員不足の中にも売上・訪問件数は達成できた、残業を可視化することで時間管理を意識する結果となり残業減少につながった。

#### （ウ）学習と成長の視点

1人1人が学びを積み重ねチームとして看護の質（知識・技術）が向上できる

- ⑦自己目標の設定：訪問看護師経験に合わせた研修計画
- ⑧リスクマネジメント（安全・安心を提供できる）：ヒヤリハット・インシデントの報告共有・事例検討し学びを深める
- ⑨専門性の高い看護が提供できる：事業所の看護の強みを高める（緩和ケア・認知症・精神看護・小児看護）

#### 【成果】

1人1人の看護知識技術が訪問看護師として成長に繋がり信頼できる看護となっている。計画的な研修にも参加やリスクマネジメント（インシデント・ヒヤリハット）報告が行われ安全・安心に繋がる看護が提供できるように積極的に取り組んだ。今年度は、精神看護（精神訪問看護基本療養算定）重症児看護が深められるように研修に取り組んだ。癌末期や難病等医療保険での訪問も32.6%を占め看取り13件で昨年度より増加してきた。看護の質が向上し地域の先生方やCMとの信頼関係も構築できて来たと考え。今後も

より専門性の高い看護が提供できる事業所として成長できるよう取り組んでいきたい。

#### (エ) 顧客の視点

住み慣れた家・地域で安心した生活を支えることができる

- ⑦生活看護を実践し体調を管理できる：食事・住まい・排泄・活動・睡眠
- ⑧地域との繋がりを強化し訪問看護を推進：地域との交流（ふれあい喫茶・家族の集い・CM向け講習会の開催）
- ⑨住み慣れた家・地域で最期を迎えられる：誠実に心温まる看護

#### 【成果】

入院：144件。誤嚥性肺炎や転倒での骨折が多くあった。終了：59件（永眠：21件 入所：23件 他事業所：2件 自立：1件）超高齢独居で在宅困難や介護者の高齢化や家族の介護力の低下負担は入所へと繋がっている。看取りは13件。昨年より増え、最後までそのらしく生きることにより寄り添い支える看護を提供できご家族からは『介護することで家族の絆を繋ぐことができ家で最期まで過ごさせることができました』と感謝の言葉もいただいた。今年も地域との繋がりを夏祭り・ふれあい喫茶・家族の集い（防災：災害について学ぼう）・CM講習会（看護は胃瘻について・訪問リハビリは骨折・パーキンソン病について）等を開催し好評を得ている。地域からは防災訓練の救護班として毎年依頼があり訪問看護の推進に繋がってきている。

#### ④教育研修

内容	日時	主催	担当課員
【保険請求】 事例から学ぶ制度・報酬・運営セミナー	4/22・23	日本訪問看護財団	岡野
【精神】 精神科訪問看護基本療養算定要件研修会	6/2～4	一般社会法人大阪訪問看護ステーション協会	中谷
介護保険集団指導（DVD） 聴講	6/15	事業所内	スタッフ 全員対象
在宅重症児心身障がい児者に対応 可能な訪問看護師育成研修	8/6・20 9/3・10/22	大阪府看護協会ナースング大阪 坂市立重症心身障がい児（児）支援センター	植田
【認知症】 大阪市認知症介護基礎 研修	8/29	大阪市社会福祉研修・情報センター	橋本
【管理】 訪問看護管理者基礎コース	9/30 10/1 11/10・11	大阪府訪問看護ステーション	川本
第19回大阪病院学会 演題発表 『支援拒否を認め、地域から孤立していく男性独居高齢者への介入』	11/12	一般社団法人大阪府病院協会 一般社団法人大阪府市立病院協会	川本
【小児】 重症心身障がい児を理解する	11/19	大阪発達総合療育センター	川本 加藤
【精神科】 精神科訪問看護基本療養算定要件研修会	12/8～10	日本訪問看護財団	加藤
【教育】 訪問看護新任教員教育担当者研修	1/7	大阪府立大学院看護研究科	川本

【小児】 小児在宅医療の推進 『相談支援専門員を知ろう』	1/14	大阪府社会福祉会館	植田 川本
【災害】 災害研修 災害に備えたい最低ライン	1/20	大阪市福祉会館	藤田
【精神】 精神科訪問看護基本療養算定要件 研修	1/25～27	全国訪問看護事業協会	中村
【精神】 精神科訪問看護基本療養算定要件 研修	2/8～9	一般社団法人大阪訪問看護ステーション協会	國方
【保険請求】 介護報酬・医療報酬改定研修	3/30	全国訪問看護事業協会	植田 川本 加藤 岡野

## ⑤ 今後の展望

平成29年度は『和（輪）作り働きやすい環境づくり ～質の高い看護が提供できる事業所を目指す』を目標に取り組んだ。

訪問リハビリではマネジメントリーダーが配置されたことでセラピスト間の連携が充実し生活の視点でのリハビリが強化された。小児訪問看護の広報活動や重症児の訪問のかけ橋にもなり提供に繋がった。作業療法士も精神訪問看護の研修に参加させることができ看護・リハビリ共に提供の領域が広がることができ小児・精神などの利用者獲得につながった。看取り件数も13件と昨年を上回ったが目指していた機能強化型Ⅱ訪問看護ステーションにはまだ件数が不足している。看取り件数が増加したことは、地域かかりつけ医やCMからの看護への信頼が高かったといえる。看護師が多く在籍していることで、緊急対応や祝祭日の利用者のニーズに合った訪問に繋がり、利用者の健康面や生活面を支えることができ真心のこもった看護が地域から選ばれる事業所になってきた。訪問件数は1万1864件1億674万円の収益を上げることができチームで達成できた。看護の領域（小児看護・精神看護）も広げることができ充実した看護・リハビリを提供できた。平成30年度の目標は『和（輪）を作り心通い合う温かさのある職場づくり～質の高い看護が提供できる事業所を目指す～』とした。在宅事業部目標は『成長と拡大』。訪問看護はICT化を進めており業務の効率化・効果的運営に期待は大きい、また、地域との医療と介護の連携強化と繋がりを考え地域包括ケアを担い安心して在宅療養を構築するため質の高い看護を提供していきたい。30年度も事業所が質の高い看護が提供でき1人1人が成長できる環境を整えていきたいと考える。その人らしく最期まで生きることを支えられ意思決定を支援できる看護を目指し教育研修を充実より専門性の高い看護を提供でき安定した事業運営ができるよう取り組む。

## (2) 訪問看護ステーション東成おおみち（訪問看護事業）

### ①スタッフの体制（年度末日時点）

看護師：9名

セラピスト：3名

事務：2名

### ②業務内容

指定訪問看護（健康保険法）

指定訪問看護（介護保険法）

指定介護予防サービス（介護予防訪問看護）

### ③業務実績

#### ア. 平成 29 年度目標

「和・気持ちを通い・明るく・助け合い・気持ちよく働ける職場作り」

～質の高い看護ができる事業所を目指す～

#### (ア) 業務プロセスの視点

昨年度より残業が微増、有休取得横ばい、30分訪問増加の影響で煩雑さが増したことが大きな原因である。(いつも当ステーションを選んでくださる医師が予防的介入の時点から訪問看護を依頼してくださるため、やむを得ず)

営業面については、せずとも依頼があるようになった。納涼会などに参加したり、区の医療・介護実務者ワーキングに参加しており、人となりを知ってもらうことで依頼がある事と、課員の日々の看護の充実でリピーターが獲得できている。

#### (イ) 学習と成長の視点

学会発表を去年に引き続き発表できた。看護学生の指導ができる有資格者が1名増えた(計3名)。小児利用者が6名となり、総合医療センター・日赤・地域の小児科医とも細いながらパイプができた。現在小児科看護経験者の指導の下、他スタッフも小児科看護経験を必死に積んでいる日々である。2ステーション共同での研修(災害)も実施できた。

#### (ウ) 顧客の視点

看取りは13件であった。目標の15件に及ばなかったのは、重症者も依頼をくれている事業所へのアプローチ不足であったことが予測される。

医療の訪問件数の割合は30.4%と過去最高(一番多い月で38.7%)であった。

入院件数が119件と過去最高であり、分析を実施。割合の多い中でも肺炎・腎や肝や心不全・骨折・脱水・などは介入で数を減らせると考えられるため、対策を講じたい。

公的保険外活動としては地域住民向けに講習を実施できたことやさらには利用者家族に対しピアカンファレンスとしての機能を担う「家族の集い」も継続して実施できた。

#### (エ) 財務の視点

安定した経営ができた。今までで忙しくてもしばらくすると必ず訪れていた閑散期がほとんどなく経過した。

新規利用者は66件である。そして過去最高の利用者数165名を経験した。

㊦看護 目標売上 年間：65,034,000円 売上73,343,000円

㊧リハビリ 目標売上 年間：24,460,000円 売上24,127,000円

## ④教育研修

内容	日時	主催	担当課員
大阪府立大学「地域リハビリテーション学コース」第4期	4月～3月	大阪府立大学羽曳野キャンパス 大学院総合リハビリテーション学 研究科 コア・プロジェクト	平尾 堀江 澤口
在宅医学会地域フォーラム	4/15・16	日本在宅医学会	古城
共生の心で考えるエンドオブライフケア	4/22	佛教大学総合研究所共同研究プロジェクト シンポジウム	古城
在宅医学会大会	6/17・18	日本在宅医学会	古城
介護保険集団指導（DVD）聴講	6/21	事業所内	スタッフ 全員対象
新任訪問看護師養成研修	6/21・23・30 7/3・10	大阪府訪問看護ステーション協会	高倉
これだけは知っておきたい骨転移	6/15	ワンピースの会	高倉 津田
新任訪問看護師養成研修	6/26・7/7・12・19・26	大阪府訪問看護ステーション協会	遠江
大人の発達障害	6/28	MHP	竹島 衛藤 藤田 高倉 菅 天野 津田 古城 遠江
病病診連携	7/1	東成区医師会	竹島
第29回大阪府理学療法士学会	7/2	大阪府理学療法士会	澤口
小児訪問看護研修	7/8	大阪府訪問看護ステーション協会	古城
小児の療養生活を支援する研修	7/15	大阪府訪問看護ステーション協会	古城
癌疼痛看護の実際	7/20	ワンピースの会	高倉
日本病院学会	7/20・21	日本医師会	竹島 澤口
認定必須研修会	7/22	日本府理学療法士会	澤口
小児虐待予防研修	7/22	大阪府看護協会	衛藤
オープンマギーズデー	8/5	マギーズ東京	古城
在宅重症心身障がい児者に対応可能な訪問看護師育成研修	8/6・20 9/5・10/22	大阪府福祉部障がい福祉室 地域生活支援課地域サービス支援グループ	高倉
在宅での緩和ケアについて	8/20	かなえるリンク	堀江
基礎から学ぶ食支援	8/26	日本訪問リハビリテーション協会	堀江
3学会合同呼吸療法認定士認定講習会	8/27・28	3学会合同呼吸療法認定士認定委員会	澤口
第27回奈良県理学療法士会	9/3	奈良県理学療法士会協会	澤口
本当の地域包括をご存知ですか	9/2	ワンピースの会	高倉 古城
地域包括研修	9/21	東成区医師会	竹島

独居老人の看取りはどこまで可能か	10/21	日本ホスピス在宅ケア研究所	古城
第52回日本理学療法士協会全国学術研修大会	10/21	公益社団法人日本理学療法士協会	澤口
介護予防推進リーダー導入研修	10/22	大阪府理学療法士会	澤口
地域包括ケア推進リーダー導入研修	11/5	大阪府理学療法士会	澤口
第57回近畿理学療法学会	11/12	日本府理学療法士会	澤口
大阪病院学会	11/12	大阪府私立病院協会 大阪府病院協会	竹島 古城
第8回在宅医療推進フォーラム	11/25	勇美記念財団	古城
伝えよう訪問看護の力	12/2	大阪府訪問看護ステーション協会	古城
大阪府看護学会	12/9	大阪府看護協会	古城
高次機能障害研修	1/13	障がい者医療リハビリテーションセンター	高倉 津田
多職種連携会	1/20	東成区 東成医師会	竹島
実習指導者講習会特定分野	1/25～2/14	大阪府看護協会	菅
在宅療養支援の取り組み	1/26	大阪府看護協会	衛藤
平成29年度日本理学療法学会フォーラム	1/28	日本地域理学療法学会	平尾
医療・介護改定について	2/2	北河内圏域地域リハビリテーション関係者会	堀江
在宅医学会	2/2・3	在宅医学会	古城
意思決定支援の取り組み	2/5	ワンピース	高倉
経営セミナー	2/19	日本経営グループ	竹島 平尾
精神科訪問看護における作業療法士の取り組み	2/17	大阪府リハビリテーション振興会	堀江
報酬改定の説明会	2/27	大阪府理学療法士連盟	平尾 堀江
在宅NPPVを考える会	3/3	フィリップモリス	古城
患者の在宅意思決定支援	3/10	大阪赤十字病院	古城
みんなで考える在宅医療	3/24	八尾市医師会	古城
診療・介護報酬改定説明会	3/28	看護協会	竹島
H30年度診療報酬介護報酬改定点数の説明会	3/29	大阪府病院協会 大阪府私立病院協会	芦田
H30年度診療報酬介護報酬改定研修会	3/31	全国訪問看護事業協会	芦田

## ⑤ 今後の展望

29年度も年間通しての黒字化を達成出来た。看護は閑散期もほぼなく経過した。これほど営業しなくても新規がどんどん得られた年度はなかった。地域からの信頼が得られている証である。しかしみなしや吸引指導専門の訪問看護ステーションなど入れると計23ステーションほどあり、常に淘汰されるリスクはあるため、高い質の維持、生き残りをかけた対策は必須である。

もし看護師数が増えるなら今後は29年度より実績をさらに進展させ（看護師数が増えないなら、今の実績を維持）たい。そして看護小規模多機能の展開を検討したい。昨年から続き他法人からの依頼は年間平均で高水準を維持し、地域の医師からの信頼も厚く、実現のための下地は出来ていると考える。

また、超重症児の訪問看護・訪問リハビリ件数は増加しつつあり、総合医療センターや日赤からの新規も確実に得られており、地域の小児科医ともパイプが出来ている。今後の安定した経営の為、立案した計画を徹底して実践する必要がある。もしポバース記念病院の小児化とも連動できれば病院にもステーションにも外来・入院リハビリ待機者や退院者の在宅療養支援ができるメリットがあると考えます。

地域活動としては、昨年同様、区の医療・介護連携ワーキング、地域ケアマネジャー向け研修会の開催や憩いの家での血圧測定、介護予防体操、健康相談を引き続き実施できた。

職場環境については「お互い助け合う風土」がしっかり根付いており、「難しい事象でも何とかしよう」という意識もある。これらが奏功し、29年度も退職者がなかった。

平成30年度も『“和” 気持ちを通い・明るく・助け合い気持ちよく働ける職場づくり～質の高い看護ができる事業所を目指す～』という目標の下、お互いを助け合い、質の維持を確保しながら、安定した経営が行えるように取り組んでいきたい。

### (3) ケアプランセンター城東おおみち（居宅介護支援事業）

#### ①スタッフの体制（年度末日時点）

ケアマネジャー 5名（うち、2名が主任ケアマネジャー）

#### ②業務内容

居宅介護支援事業

#### ③業務実績

##### ア. 平成29年度ケアプランセンター共通目標

平成30年ダブル改定に向けての土台作り

##### イ. 平成29年度事業所目標

「一人ひとりがケアマネジャーとしての、あるべき姿を見つめ直す」

##### ウ. 通年目標と取り組み

###### (ア) 財務の視点

###### ㉞ 給付件数の安定

- ・新規相談に大道会のケアプランセンターとして連携して対応する
- ・緊急な新規ケースにも対応できる

###### ㉟ 重度者割合 55%程度を維持

- ・特定事業所Ⅱを維持
- ・重度者割合を把握 ケアプランセンター東成おおみち、東中浜ケアプランセンターと協働

###### ㊱ 相談件数（目標：4件/月）・契約件数（内1件）獲得

- ・大道会のケアプランセンターとして協働して受け入れする

## (イ) 顧客の視点

- ⑦ご利用者が安心できるケアプランセンターへ
  - ・担当者が不在でもご利用者が不安にならない対応ができる
  - ・事業所のケースは皆のケースと意識して対応する
- ⑧地域包括支援センターとの連携強化
  - ・地域性を重視し、城陽包括と放出包括との関係を保つ

## (ウ) 業務プロセスの視点

- ⑨大道会のケアプランセンターとして一体的な運営を行う
  - ・3つのケアプランセンターで協力し、断らない体制を作る
- ⑩マニュアルの見直しと改善
  - ・新人研修マニュアルの見直し
  - ・法定研修実習受け入れ
- ⑪ひとりで抱え込まない体制づくり
  - ・ケースの共有度を上げる
  - ・相談しやすい環境を作る
- ⑫職場環境の見直し（残業時間を短縮し健康管理）
  - ・残業の事前申請と効率的で計画的な業務の遂行
  - ・シフト勤務や振替休日等の活用
  - ・担当件数の見直し

## (エ) 学習と成長の視点

～気づき・学び・実行～

- ⑬ケアマネ自己評価表を作成し、自身のケアマネジメントを評価する
- ⑭事例検討会での学びを活かし、現場に取り組む
- ⑮個人目標の明確化
  - ・自分のステップアップを確認できる研修計画を立てて実行する

## ④教育研修

- ア 当事業所単体の利用者情報共有会議（週1回）
- イ ケアプランセンター東成おおみち、東中浜ケアプランセンター合同のケアマネ全体会議における制度改正等の情報共有（月1回）
- ウ 各ケアマネジャー個別の外部セミナー出席

## ⑤今後の展望

平成29年度は特定事業所を守りながら、新規の受け入れができる体制として3つのケアプランセンターで地域の方のニーズや法人内医療機関、施設からの依頼に応じていけるように一体的運営を目指していった。平成30年度に向けては共通テーマを「マネジメントシステムの構築」として、個々のスキルや立場、責務に応じた業務や支援内容を見つめ直し、システム化することを一番のテーマとした。また、ケアマネ自身が社会資源のひとつとして成長し、地域での暮らしの支え手となることは社会医療法人の役割でもあると認識し、所内の研修体制はもとより、新人ケアマネの育成に尽力できる事業所を目指す。

#### (4) ケアプランセンター東成おおみち（居宅介護支援事業）

##### ① スタッフの体制（年度末日時点）

ケアマネジャー 3名（全員が主任ケアマネジャー）

##### ② 業務内容

居宅介護支援事業

##### ③ 業務実績

##### ア. 平成 29 年度事業所目標

「業務の効率化を図り、笑顔で働ける環境作り」

##### イ. 通年目標と取り組み

###### (ア) 財務の視点

法人内のケアプランセンターと連携を図り、大道会ケアプランセンターとして一体的運営を行う

⑦法人内のケアプランセンターと連携を図る

①新規紹介を断らない

###### (イ) 顧客の視点

利用者をチーム（事業所）で支え、事業所の対応力を向上させる

⑦利用者情報共有会議・ミニ事例検討の実施および、サービス担当者会議への参加を通して、ケースに共有を図る

①困難ケースの複数担当制の検討

###### (ウ) 業務プロセスの視点

全スタッフが笑顔で働ける体制を整える

⑦残業時間の削減

①必要な書類や資料がスムーズに取り出せる

###### (エ) 学習と成長の視点

内外ともに学びの機会を多く持ち、ケアマネジメントの質の向上を目指す

⑦事例検討会、各種学習会の開催等により、ケアマネジメントの質の向上を図る

①包括支援センター、各機関の研修へ積極的に参加する

##### ④教育研修

当事業所単体の利用者情報共有会議、ミニ事例検討（以上、週1回）、ケアプランセンター城東おおみち、東中浜ケアプランセンター合同のケアマネ全体会議における事例検討（月1回）、各ケアマネジャー個別での外部セミナーへの出席

##### ⑤今後の展望

平成 29 年度は、前年度に続き年度中での管理者変更や職員減での立て直しが目の前の課題となり、各視点の目標達成は元より、特定事業所変更や特定事業所集中減算等の考慮で思うように売上達成に繋げる事ができなかったが、地域の要となる地域包括支援センターからの相談案件は定期的であり、1人あたりの担当件数は維持している。

また、積極的な新規受入ができない中でも、「本人・家族・地域」からの相談もあり、ケースを通じて信頼を得る事ができ前年度のテーマである「チームとして支え学び合い、選ばれる

事業所を目指す」という事業所の目標達成に繋がる結果となった。

次年度に向けては、ケアプランセンター共同で、入職者育成の為の「新人研修マニュアル」の見直しや、平成30年度の介護保険法改正にて、より質の高いケアマネジメントを行えるよう、「医療・介護・予防・住まい・生活支援」が包括的に確保される地域包括ケアシステムの構築に向けて大道会ケアプランセンターとしての一体的運営の土台作りに取り組んでいる。

## (5) 東中浜ケアプランセンター（居宅介護支援事業）

### ①スタッフの体制（年度末日時点）

ケアマネジャー 1名、事務 1名

### ②業務内容

居宅介護支援事業

### ③業務実績

#### ア. 平成29年度目標

「熱く！素早く！冷静に！地域のニーズに応じて動く」

#### イ. 通年目標と取り組み

##### (ア) 財務の視点

㊦月平均件数目標：介護給付20件

㊦単価目標：¥14,361

㊦城東・東成各ケアプランセンターの集中減算回避をサポート

平均請求件数は月20件、目標金額はほぼ達成、集中減算回避達成

##### (イ) 顧客の視点

㊦利用者に選んでいただいた大道会が提供する質の高いサービスを迷うことなく提供できるケアプランセンター

㊦ひとりケアマネジャーであることをリスクに感じさせない対応を目指す

㊦明るく・温かい・オープンな事業所イメージ

法人内サービスを希望される方への支援を中心に、グリーンライフからの在宅復帰、法人内ケアプランセンターからの移管や近隣住民の相談窓口として機能

##### (ウ) 業務プロセスの視点

㊦大道会の3つのケアプランセンターの一体的運営の推進

㊦業務手順の確認と統一を図り効率化の推進

㊦次年度改定に向けた情報収集と共有

新規対応窓口の一本化を継続し、帳票類の整理、統一を図ることで効率化を推進  
改定に向けて情報を共有し、法人内ケアプランセンター全体で方向性を検討

##### (エ) 学習と成長の視点

㊦利用者の暮らしの質はケアマネジャーの質にかかっている・・・自己研鑽

㊦皆で学びあい・高めあい・・・事例検討・研修

毎月定例のケアプランセンター城東おおみちとの合同事例検討会を実施

毎月定例のケアプランセンター全体会議で情報共有や学習会を実施

#### ④教育研修

外部研修

- (ア)「主任ケアマネジャー更新研修」(H29.4～H29.7まで全8回)
- (イ)「総合事業の開設と実情について」(大阪介護支援専門員協会城東区支部研修)
- (ウ)「次年度改正の動向」(大阪介護支援専門員協会城東区支部研修)
- (エ)「大阪市キャラバン・メイト フォローアップ研修 全2回」
- (オ)「ケアプラン点検振り返り研修」(大阪市主催研修)
- (カ)「認知症のケアマネジメントの新たな展開」(日本ケアマネジメント学会研修)
- (キ)「在宅で求められる言語聴覚士の役割」
- (ク)「介護報酬改定伝達研修」(大阪介護支援専門員協会研修)

#### ⑤今後の展望

今年度は、3つのケアプランセンターの一体的運営を更に強化してケアマネジメントプロセスの定期的な見直しや帳票類の整理など業務の効率化に取り組み、質の高いサービスを提供することで地域からの信頼に応え、利用者を選んで頂ける大道会のケアプランセンターとして進んできた。

平成30年度は医療・介護のダブル改定の年となる。ますます互いの連携が求められ、医療機関を母体とする大道会の在宅部門としては、更に質の高い安定したケアマネジメントが求められることになる。東中浜ケアプランセンターは、開設当初の目標を達成し、役割を果たすことが出来た。今後は、改定後の動向を見据え、事業所の統合を目指していくことになるだろう。

### (6) レンタルケアおおみち (福祉用具貸与・販売事業・住宅改修事業)

#### ①スタッフ体制

- 管理者1名(福祉用具専門相談員 兼務)
- 福祉用具専門相談員 3名(常勤2名・非常勤1名)

#### ②業務内容

- 福祉用具貸与・特定福祉用具販売事業、介護用品販売事業・住宅改修事業
- 利用者の居宅サービス計画に基づき、福祉用具貸与・特定福祉用具販売
- 福祉用具(特定福祉用具)サービス計画書作成・交付
- 福祉用具・介護用品の相談、情報提供
- 福祉用具の機能・安全性・衛生状態等に関する定期点検、指導
- 福祉用具の点検・修理・消毒・洗浄・保管(外部委託)
- 住宅改修現地調査立ち合い・見積もり作成・申請代行・着工立ち合い
- 介護給付費等の請求事務及び通信連絡事務等

#### ③業務実績

##### ア. 平成29年度事業所目標

「業務効率化を実行し利益アップを目指す」

##### イ. 目標と取り組み

(ア) 財務の視点

⑦年間売り上げ合計 ￥ 24,720,046-

月平均 206 万円 目標達成率 101%

①販売顧客の幅を広げる

職員限定キャンペーン実施 車いす 3 台販売実績  
サンローズへの定期訪問実施により販売依頼増加

②営業活動始動

報告事項を FAX ではなく訪所+電話で実施  
法人外居宅からの新規依頼 上期 2 件 下期 8 件

(イ) 顧客の視点

⑦福祉用具サービス計画書の充実、モニタリングシートの活用  
計画書管理シートの活用により交付漏れなく迅速に交付  
点検報告をモニタリングシートと併用することで内容の充実を図る

⑧貸与価格見直し

特殊寝台、車いす等の主力商品の価格改定実施

(ウ) 業務プロセスの視点

⑦業務効率

事務業務の重複を解消  
PC 入力機能等を活用し帳票書類の簡素化を図る

(エ) 学習と成長の視点

⑦さまざまな分野の知識向上

介護ロボット関連セミナー、体験会、介護保険改定研修会参加

## ④ 教育研修

### 外部研修

- 「2018 年介護保険改正と介護サービスの今後」
- 「介護事業所における個人情報の適切な取り扱い」
- 「介護保険改正と福祉用具・住宅改修の今後」
- 「介護ロボットの現状と今後」
- 「最新介護ロボット体験セミナー～見て、触って知ろう、学ぼう～」
- 「介護保険制度をめぐる議論～次期制度改正と福祉用具～」
- 「2018 年介護保険制度改正～どうなる介護保険、利用者の立場から～」
- 「オーストラリア・神戸における介護ロボットの取り組みについて」
- 「第 44 回国際福祉機器展 HCR2017」
- 「選定講習会」
- 「福祉用具の適切な貸与に関する普及啓発事業説明会」
- 「自立を支援する住まいの工夫と福祉用具」
- 「2018 年医療・介護同時改定に向けた経営戦略セミナー」
- 「診療報酬&介護報酬ダブル改定を紐解く」
- 「見守り支援ロボットを活用した施設運営の事例紹介」
- 「介護業界や介護ロボットの今後の動向について」
- 「バリアフリー展 2017」

## ⑤ 今後の展望

平成 30 年度は営業活動やイベント開催により地域ケアマネジャーをはじめ利用者との繋がりが、信頼を深め選ばれる貸与事業所を目指す。また貸与、販売共に利益幅の大きな商品（アイテム）に重点を置き PR する。業務効率化、残業時間削減を心掛け費用の縮減に努め、マイナ

ス収支の対策を強化し安定した経営体制の確立を目指す。

平成 30 年度事業所目標

「繋がり、信頼を深め選ばれる貸与事業所を目指す」

(ア) 財務の視点

⑦貸与価格帯別新規目標件数を設ける

(イ) 顧客の視点

⑦丁寧な実績、モニタリング報告

④情報提供

(ウ) 業務プロセスの視点

⑦企画&広報活動の充実

(エ) 学習と成長の視点

⑦生活動線に視点を置く (OJT 研修実施)

## 5 統計報告（平成 29 年度）

### (1) 訪問看護ステーション（おおみち・東成おおみち）

#### ①平成 29 年度 利用者数・訪問件数推移

		H29.4	H29.5	H29.6	H29.7	H29.8	H29.9	H29.10	H29.11	H29.12	H30.1	H30.2	H30.3	合計	平均/月	
新規利用者数	STおおみち	6	3	6	11	4	9	13	3	2	3	3	12	75	6.3	
	ST東成	1	5	4	8	4	9	5	9	6	5	7	3	66	5.5	
	合計	7	8	10	19	8	18	18	12	8	8	10	15	141	11.8	
終了利用者数	STおおみち	8	5	6	5	5	11	2	1	4	8	9	3	67	5.6	
	ST東成	6	5	4	6	7	3	3	3	3	4	11	5	60	5.0	
	合計	14	10	10	11	12	14	5	4	7	12	20	8	127	10.6	
訪問件数	介護保険 訪問看護延べ数	STおおみち	470	476	513	489	508	504	534	516	525	552	487	512	6,086	507.2
		ST東成	454	468	502	466	495	486	470	443	465	460	403	441	5,553	462.8
		合計	924	944	1,015	955	1,003	990	1,004	959	990	1,012	890	953	11,639	969.9
	介護保険 訪問リハ延べ数	STおおみち	169	177	179	179	183	175	188	169	176	176	162	175	2,108	175.7
		ST東成	161	162	174	174	190	179	179	168	176	164	157	167	2,051	170.9
		合計	330	339	353	353	373	354	367	337	352	340	319	342	4,159	346.6
	医療保険 訪問看護＋ 訪問リハ延べ数	STおおみち	237	224	256	237	304	376	332	325	364	343	325	347	3,670	305.8
		ST東成	192	218	244	294	268	220	211	247	273	272	315	291	3,045	253.8
		合計	429	442	500	531	572	596	543	572	637	615	640	638	6,715	559.6
訪問件数 総計	STおおみち	876	877	948	905	995	1,055	1,054	1,010	1,065	1,071	974	1,034	11,864	988.7	
	ST東成	807	848	920	934	953	885	860	858	914	896	875	899	10,649	887.4	
	合計	1,683	1,725	1,868	1,839	1,948	1,940	1,914	1,868	1,979	1,967	1,849	1,933	22,513	1876.1	

#### ②平成 29 年度 年間相談件数

		STおおみち	ST東成	合計	%
CM	法人内	7	16	23	13.6%
	法人外	48	34	82	48.5%
MSW	法人内	11	2	13	7.7%
	法人外	13	1	14	8.3%
医師	法人内	0	0	0	0.0%
	法人外	12	11	23	13.6%
その他		7	7	14	8.3%
合計		98	71	169	100.0%

#### ③平成 29 年度 介護度別分布（年度末時点）

	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	医療	合計
STおおみち	6	15	13	33	27	29	19	33	175
ST東成	8	10	16	27	23	22	24	43	173
	14	25	29	60	50	51	43	76	348

#### ④平成 29 年度 実習受け入れ実績

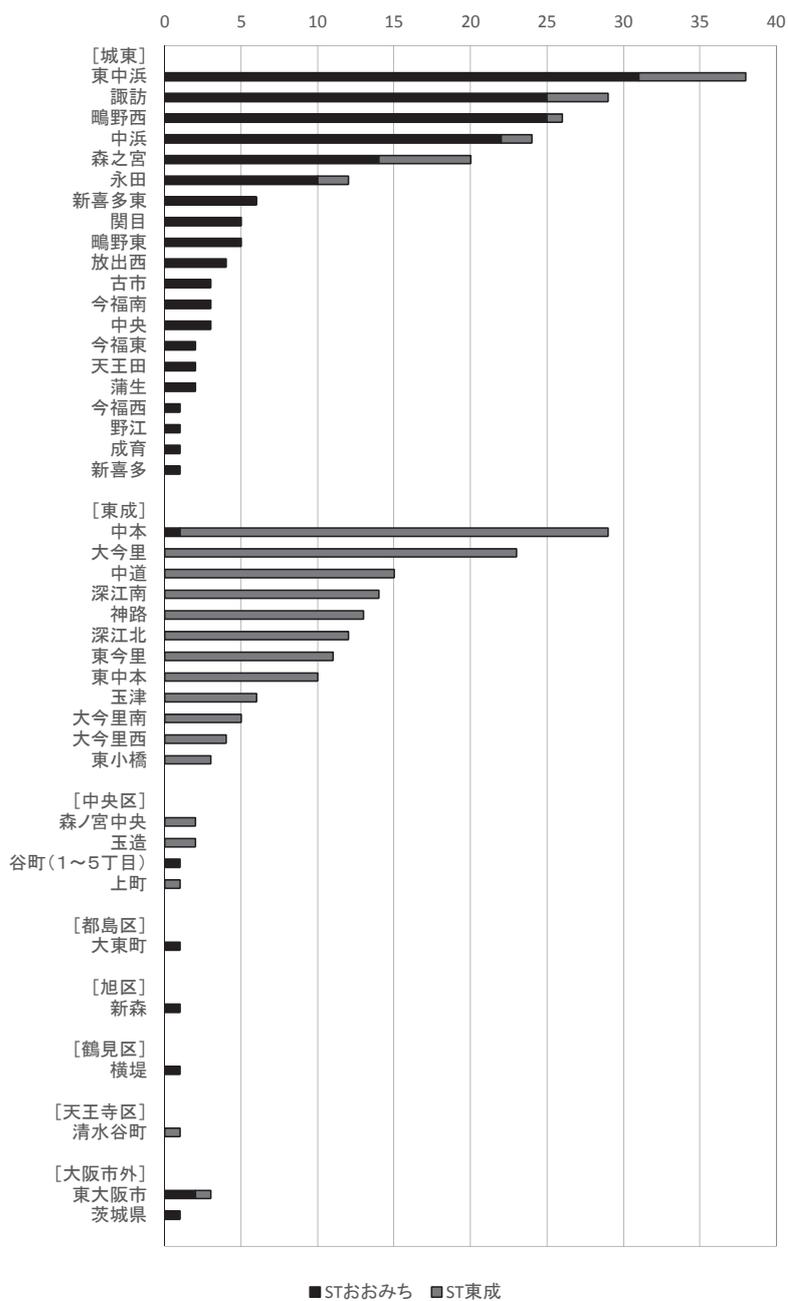
学校名	対象学生	受入人数
大阪府病院協会看護専門学校	2年課程通信制	5
大阪信愛女学院短期大学	看護学科	12
大阪府病院協会看護専門学校	3年課程	6

その他

大阪府立大学地域保健学域総合リハビリテーション学類理学療法学専攻 1名  
独立行政法人国立病院機構大阪医療センター訪問看護研修 1名

⑤平成 29 年度 地域別分布

地域	STおおみち	ST東成	総計
[城東]			
東中浜	31	7	38
諏訪	25	4	29
鳴野西	25	1	26
中浜	22	2	24
森之宮	14	6	20
永田	10	2	12
新喜多東	6		6
関目	5		5
鳴野東	5		5
放出西	4		4
古市	3		3
今福南	3		3
中央	3		3
今福東	2		2
天王田	2		2
蒲生	2		2
今福西	1		1
野江	1		1
成育	1		1
新喜多	1		1
[東成]			
中本	1	28	29
大今里		23	23
中道		15	15
深江南		14	14
神路		13	13
深江北		12	12
東今里		11	11
東中本		10	10
玉津		6	6
大今里南		5	5
大今里西		4	4
東小橋		3	3
[中央区]			
森ノ宮中央		2	2
玉造		2	2
谷町(1~5丁目)	1		1
上町		1	1
[都島区]			
大東町	1		1
[旭区]			
新森	1		1
[鶴見区]			
横堤	1		1
[天王寺区]			
清水谷町		1	1
[大阪市外]			
東大阪市	2	1	3
茨城県	1		1
	174	173	347



(2) ケアプランセンター（城東おおみち・東成おおみち）

①平成 29 年度 利用者数・加算件数推移

		H29.4	H29.5	H29.6	H29.7	H29.8	H29.9	H29.10	H29.11	H29.12	H30.1	H30.2	H30.3	合計	平均/月	
利用者数	要介護者数	城東	109	108	107	108	105	104	105	108	107	104	104	107	1,276	106
		東成	83	83	81	89	88	87	79	84	81	81	67	57	960	80
		東中浜	20	21	21	20	19	20	21	20	20	19	17	16	234	20
		合計	212	212	209	217	212	211	205	212	208	204	188	180	2,470	206
	予防者数	城東	9	12	10	9	8	7	8	6	6	6	6	6	93	8
		東成	33	33	33	32	29	30	27	26	23	17	11	10	304	25
		東中浜	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		合計	42	45	43	41	37	37	35	32	29	23	17	16	397	33
	合計	城東	118	120	117	117	113	111	113	114	113	110	110	113	1,369	114
		東成	116	116	114	121	117	117	106	110	104	98	78	67	1,264	105
		東中浜	20	21	21	20	19	20	21	20	20	19	17	16	234	20
		合計	254	257	252	258	249	248	240	244	237	227	205	196	2,867	239
加算	入院時連携Ⅰ	城東	2	2	0	2	2	5	2	3	6	4	5	4	37	3
		東成	4	3	4	4	1	6	3	2	3	3	1	3	37	3
		東中浜	2	0	1	1	0	0	2	1	2	0	0	0	9	1
		合計	8	5	5	7	3	11	7	6	11	7	6	7	83	7
	入院時連携Ⅱ	城東	0	1	1	0	1	0	1	0	0	0	0	1	5	0
		東成	0	0	0	0	1	0	1	0	0	1	1	0	4	0
		東中浜	2	0	1	1	0	0	2	1	2	0	0	0	9	1
		合計	2	1	2	1	2	0	4	1	2	1	1	1	18	2
	退院・退所	城東	3	5	1	2	1	4	3	2	2	1	1	6	31	3
		東成	0	5	1	3	7	3	5	5	7	3	0	3	42	4
		東中浜	2	0	1	1	0	0	2	1	2	0	0	0	9	1
		合計	5	10	3	6	8	7	10	8	11	4	1	9	82	7
初回加算	城東	4	2	1	1	1	0	2	3	1	1	0	1	17	1	
	東成	6	1	2	2	4	3	2	5	0	1	2	0	28	2	
	東中浜	2	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	4	0	
	合計	12	3	3	3	5	4	4	8	2	2	2	1	49	4	

②平成 29 年度 相談件数年間集計

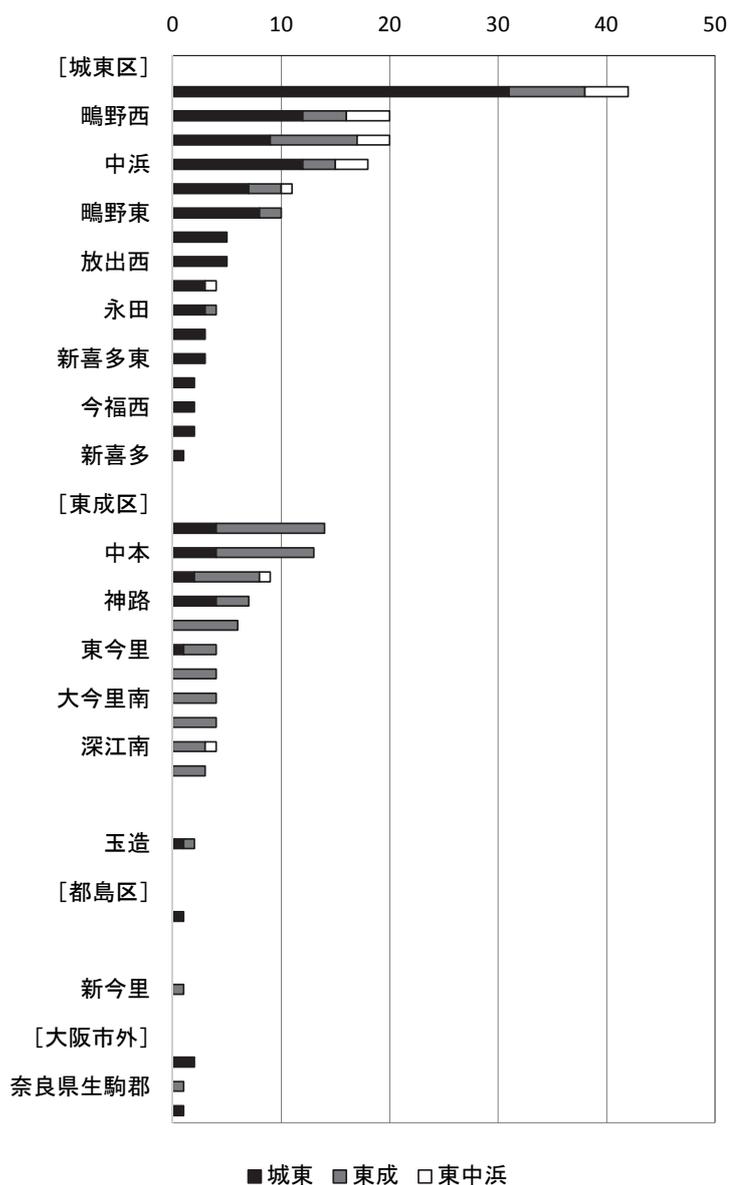
	城東	東成	東中浜	合計
森之宮病院	10	6	1	16
ボバース記念病院	0	1	0	1
ボバース記念病院(在宅ケア科)	0	0	0	0
病院(法人外)	3	7	0	10
グリーンライフ	1	2	7	3
大道クリニック	1	0	0	1
診療所(法人外)	1	0	1	1
ケアプランセンター城東おおみち	0	2	0	2
ケアプランセンター東成おおみち	0	0	1	0
東中浜ケアプランセンター	0	0	0	0
在宅介護事業所(法人外)	0	1	1	1
訪問看護ステーションおおみち	1	3	0	4
訪問看護ステーション東成おおみち	0	2	0	2
レンタルケア	0	0	0	0
地域包括支援センター	5	13	1	18
再来	0	0	1	0
本人・家族	5	26	7	31
地域住民・モニター会	0	2	0	2
その他	1	1	0	2
合計	28	66	20	94

③平成 29 年度 介護度別分布（年度末時点）

	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	区変中等	総計
城東	22	26	29	23	19	4	2	2	127
東成	23	21	11	12	3	7	5	5	87
東中浜	0	0	4	3	5	3	3	0	18
合計	45	47	44	38	27	14	10	7	232

④平成 29 年度 利用者地域別分布（年度末時点）

	城東	東成	東中浜	総計
〔城東区〕				
東中浜	31	7	4	42
鳴野西	12	4	4	20
森之宮	9	8	3	20
中浜	12	3	3	18
諏訪	7	3	1	11
鳴野東	8	2		10
関目	5			5
放出西	5			5
今福東	3		1	4
永田	3	1		4
天王田	3			3
新喜多東	3			3
今福南	2			2
今福西	2			2
中央	2			2
新喜多	1			1
〔東成区〕				
東中本	4	10		14
中本	4	9		13
中道	2	6	1	9
神路	4	3		7
大今里西		6		6
東今里	1	3		4
深江北		4		4
大今里南		4		4
玉津		4		4
深江南		3	1	4
大今里		3		3
〔中央区〕				
玉造	1	1		2
〔都島区〕				
大東町	1			1
〔生野区〕				
新今里		1		1
〔大阪市外〕				
東大阪市	2			2
奈良県生駒郡		1		1
茨城県潮来市	1			1
総計	126	118	18	262



(3) レンタルケアおおみち

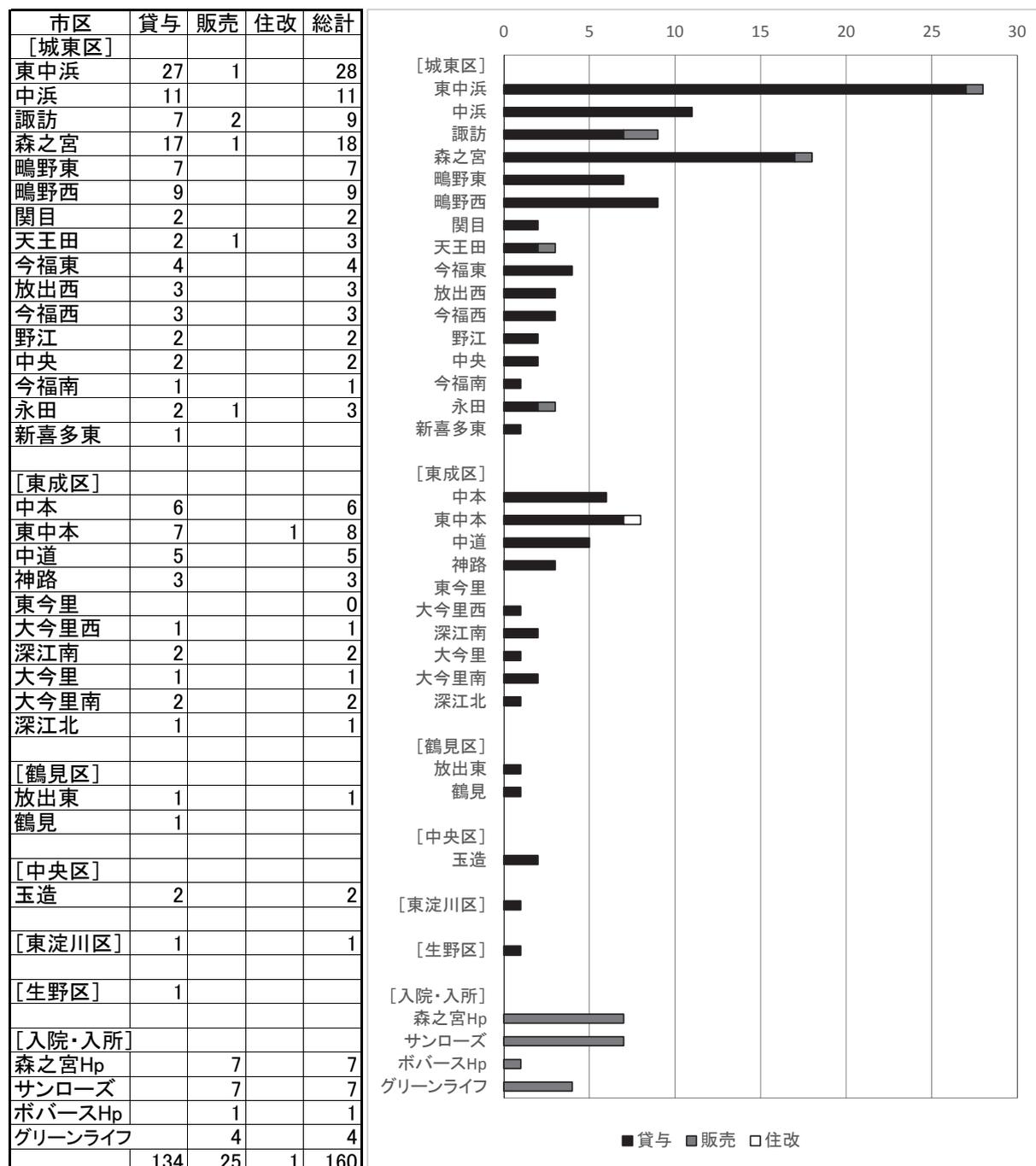
①平成 29 年度 貸与・自費貸与・販売・利用者数

	H29.4	H29.5	H29.6	H29.7	H29.8	H29.9	H29.10	H29.11	H29.12	H30.1	H30.2	H30.3	合計	平均/月
貸与	129	132	129	128	130	131	127	128	130	126	123	124	1537	128.1
自費貸与	10	9	10	9	10	11	10	10	10	11	9	10	119	9.9
販売	14	11	22	19	17	20	19	20	31	24	16	25	238	19.8
住宅改修	1	3	2	0	0	2	0	1	1	2	0	1	13	1.1
合計	154	155	163	156	157	164	156	159	172	163	148	160	1907	158.9

②平成 29 年度 介護度分布（貸与利用者のみ）（年度末時点）

	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
貸与利用者	10	7	24	26	23	19	12	121
							区変中	3

③平成 29 年度 利用者地域別分布（年度末時点）



■在宅事業部 年表

年・月	施設関係	事業所別					
		訪問看護 ステーション おおみち	訪問看護 ステーション 東成おおみち	ケアプラン センター 城東おおみち	ケアプラン センター 東成おおみち	レンタル ケアおおみち	東中浜ケア プラン センター
H 8.11	訪問看護ステーションおおみち 開設	○					
H 9. 1	大阪府特定疾患医療費援助事業契約 (H8.11.1 ~)	○					
H 9. 3	施設基準 24 時間連絡体制加算届出	○					
H 9. 6	大阪市重度障害者利用料助成事業契約 (H8.11.1 ~)	○					
H 9. 9	保険請求不可能な薬剤と衛生材料の現金販売を開始	○					
H10. 4	老人訪問看護療養費重症者管理加算 届出	○					
H11. 2	管理者変更	○					
H11. 9	指定居宅介護支援事業所 認可	○					
H12. 4	居宅介護支援事業所事務センター 設立			○			
	管理者変更	○					
	介護保険制度スタートに伴い訪問リハビリを開始する	○					
H12. 5	介護保険請求ソフト・レセプト作成ソフト 導入			○			
H12.12	老人保健法執行規定に基づき、基本利用料の額を定額制とする届出	○					
H13.10	医療法人大道会 ケアプランセンター 設立 (居宅介護支援事業所事務センター 廃止)			○			
H14.10	事業所移転 大阪市城東区東中浜 1 丁目 2 番 17-202	○					
H14.11	大阪府高齢介護室介護保険課 指導監査			○			
H14. 4	介護支援専門員専任 2 名体制とする			○			
H15. 4	統括管理者変更	○	○	○	○		
	訪問看護ステーション東成おおみち 設立						
	ケアプランセンター東成おおみち 設立				○		
	ケアプランセンター中央おおみち 設立			○			
	管理者変更	○					
	大道病院在宅ケア科の利用者 100 名を訪問看護ステーションおおみちへ移管	○					
H16.11	管理者変更				○		
H17.10	管理者変更	○					
H17. 4	管理者変更	○					
H17. 6	管理者変更				○		
H18. 4	管理者変更	○					
	介護予防訪問看護事業所 認可	○	○				
	予防居宅介護支援事業所 認可			○	○		
H19. 4	管理者変更			○			
H19.11	福祉用具貸与・販売事業 レンタルケアおおみち開設					○	
H20. 9	特定事業所加算Ⅰ 取得			○			
H21. 4	居宅療養管理指導 取得 介護予防居宅管理指導 取得	○	○				
H21.10	福祉用具専門相談員変更					○	
H22. 1	社会医療法人大道会 訪問看護ステーションおおみち に名称変更	○					
	社会医療法人大道会 訪問看護ステーション東成おおみち に名称変更		○				
	社会医療法人大道会 ケアプランセンター に名称変更			○			
	社会医療法人大道会 ケアプランセンター東成おおみち に名称変更				○		
	社会医療法人大道会 レンタルケアおおみち に名称変更					○	
	ケアプランセンター中央おおみち廃止			○			
H22. 1	統括管理者変更	○	○	○	○	○	
	管理者変更					○	
H22. 4	特定事業所加算Ⅱ 取得				○		
H22. 4	平成 22 年度 在宅事業部事業計画報告会	○	○	○	○	○	
H22. 5	スターフレンド・パソコンなどシステムの整備 (城東・東成)			○	○		

年・月	施設関係	事業所別					
		訪問看護 ステーション おおみち	訪問看護 ステーション 東成おおみち	ケアプラン センター 城東おおみち	ケアプラン センター 東成おおみち	レンタル ケアおおみち	東中浜ケア プラン センター
H22.10	森之宮病院新人看護師研修受け入れ開始	○	○				
H22.10	平成 22 年度 在宅事業部事業計画中間報告会	○	○	○	○	○	
H23. 1	訪問看護ステーション中央おおみち廃止後、サテライトとして訪問看護ステーション森之宮営業所 開設	○					
H23. 2	社会医療法人大道会 ケアプランセンター城東おおみちに名称変更			○			
H23. 3	管理者変更（統括管理者兼務）					○	
H23. 4	平成 23 年度 在宅事業部事業計画報告会	○	○	○	○	○	
H23. 5	大阪信愛女学院短期大学 看護学科 実習生受け入れ開始						
H23. 8	第 252 回 健康教室 「心も身体も元気でくらすために」	○					
H23. 9	事業所移転 大阪市東成区東中本 2 丁目 9-26		○		○		
H23. 9	森之宮病院中堅看護師研修受け入れ開始	○	○				
H23.10	住宅改修事業開始					○	
H23.11	平成 23 年度 在宅事業部事業計画中間報告会	○	○	○	○	○	
H23.12	管理者変更			○			
H23.12	管理者変更				○		
H24. 4	第 260 回 健康教室 「知っ得！」介護保険の使い方 ～こんなときどうするの？～			○	○		
H24. 4	平成 24 年度 在宅事業部事業計画報告会	○	○	○	○	○	
H24. 6	訪問看護 体験実習受入開始	○					
H24.10	訪問リハビリテーション専任者 1 名（半日常駐）勤務開始	○					
H24.10	福祉用具専門相談員資格取得					○	
H24.11	平成 24 年度 在宅事業部事業計画中間報告会	○	○	○	○	○	
H24.12	東成区在宅医療連携拠点事業 協力 「在宅医療連携情報共有システム」使用開始 (株式会社カナミックネットワーク 協賛)		○	○	○		
H25. 1	大阪府訪問看護ステーション協議会事例発表会 「他職種との問題共有ができた退院調整」		○				
H25. 2	管理者変更				○		
H25. 2	「家族のつどい」 開催 大道クリニック 2 階	○	○	○	○		
H25. 4	管理者変更		○				
H25. 4	平成 25 年度 在宅事業部事業計画報告会	○	○	○	○	○	
H25. 8	介護保険請求ソフト「福祉の森」 導入	○	○	○	○	○	
H25.11	平成 25 年度 在宅事業部事業計画中間報告会	○	○	○	○	○	
H26. 2	第 2 回「家族のつどい」 開催 大道クリニック 2 階	○	○	○	○	○	
H26. 3	福祉用具プランナー資格取得					○	
H26. 4	平成 26 年度 在宅事業部事業計画報告会	○	○	○	○	○	
H26.11	第 3 回「家族の集い」 開催 大道クリニック 2 階	○	○	○	○	○	
H26.11	平成 26 年度 在宅事業部事業計画中間報告会	○	○	○	○	○	
H27. 1	統括管理者補佐	○	○	○	○	○	
H27. 2	地域ケアマネジャー向け研修会	○	○	○	○		
H27. 4	統括管理変更	○	○	○	○	○	
H27. 4	管理者変更					○	
H27. 4	平成 27 年度 在宅事業部事業計画報告会	○	○	○	○	○	
H27. 9	訪問看護ステーションおおみち 森之宮営業所 閉鎖	○					
H27. 9	第 2 回 地域ケアマネジャー向け研修会	○	○				
H27.10	東成区居宅介護事業所連絡会にて「ICF 講演」				○		
H27.10	第 4 回 「家族の集い」 開催 大道クリニック 2 階	○	○	○	○	○	
H27.11	第 3 回 地域ケアマネジャー向け研修会	○	○				
H27.11	平成 27 年度 在宅事業部事業計画中間報告会	○	○	○	○	○	
H28. 1	森之宮団地にて「医療・介護モデルルームオープン」					○	
H28. 3	メディカルホーム「まどか鶴見徳庵」にて講演	○					
H28. 4	在宅事業部所属 常勤療法士配置	○	○				

年・月	施設関係	事業所別					
		訪問看護 ステーション おおみち	訪問看護 ステーション 東成おおみち	ケアプラン センター 城東おおみち	ケアプラン センター 東成おおみち	レンタル ケアおおみち	東中浜ケア プラン センター
H28. 4	メディカルホーム「まどか鶴見徳庵」にて講演	○					
H28. 4	平成 28 年度 在宅事業部事業計画報告会	○	○	○	○	○	
H28. 6	第 305 回 健康教室 「生活便利グッズのご紹介」					○	
H28. 7	管理者変更			○			
H28. 7	東中浜ケアプランセンター開設						○
H28. 8	東成区居宅介護事業所連絡会にて「ICF 講演」				○		
H28. 9	第 4 回 地域ケアマネジャー向け研修会	○	○				
H28.10	特定事業所加算Ⅰ⇒Ⅱへ変更			○			
H28.10	管理者変更				○		
H28.10	森之宮地区敬老会にて体操指導		○				
H28.11	第 5 回 「家族の集い」開催 大道クリニック 2 階	○	○	○	○	○	○
H28.11	平成 28 年度 在宅事業部事業計画中間報告会	○	○	○	○	○	○
H28.12	特定事業所加算Ⅱ⇒Ⅲへ変更				○		
H28.12	森之宮病院 10 周年記念 オープンホスピタルにて福祉用具 体験ブース出展					○	
H29. 2	第 4 回 地域ケアマネジャー向け研修会	○	○				
H29. 3	健康ファミリー投稿：シリーズ「生活便利グッズのご紹介」 ①					○	
H29. 3	福祉用具専門相談員資格取得					○	
H29. 4	平成 29 年度 「労働環境改善」着手（ノ一残業デイ、有休 取得率アップへの取組）	○	○	○	○	○	○
H29. 4	平成 29 年度 在宅事業部事業計画報告会	○	○	○	○	○	○
H29. 6	指定自立支援医療機関（精神通院医療）指定更新申請書 6 年更新届出		○				
H29. 6	訪問用スクーター導入	○					
H29. 7	第 67 回 日本病院学会発表・座長就任	○	○				
H29. 7	脱水予防講習		○				
H29. 7	健康ファミリー投稿：シリーズ「生活便利グッズのご紹介」 ②					○	
H29. 8	認知症サポーター養成講座開催（地域包括支援センターと共 催）	○					
H29. 8	東成区介護医療連携事業 小規模地域ケア会議主催		○				
H29. 9	地域支援事業・介護家族のための体操（地域包括支援セン ター依頼）	○					
H29.10	経営情報会議 訪問看護ステーションの歩みと今後の展望		○				
H29.10	経営情報会議 福祉用具貸与事業所の現状と今後の展望					○	
H29.11	第 19 回 大阪病院学会発表	○	○				
H29.10	第 320 回 健康教室講演			○			
H29.10	リハ・ケア合同研究大会 久留米 2017 座長就任	○					
H29.10	「家族の集い」開催	○	○	○	○	○	○
H29.10	健康ファミリー投稿：シリーズ「生活便利グッズのご紹介」 ③					○	
H29.11	平成 29 年度 在宅事業部事業計画中間報告会	○	○	○	○	○	○
H29.11	居宅連絡会 訪問看護使い方講義		○				
H29.12	地域ケアマネジャー向け研修会（看護）	○	○				
H30. 1	城東区・東成区 大阪市介護予防事業受託	○	○				
H30. 1	東成区多職種連携会議 主催		○				
H30. 1	介護認定審査員就任	○					
H30. 1	健康ファミリー投稿：シリーズ「生活便利グッズのご紹介」 ④					○	
H30. 2	地域ケアマネジャー向け研修会（リハ部門）	○	○				
H30. 3	2 S T 合同 災害研修	○	○				